

HITACHI

日立ルームエアコン取付説明書

別売 化粧パネル[RAP-PSZ・RAP-PZ・RAP-PSAM] 取付説明書

- 取り付ける前に必ずお読みになり、正しく取り付けてください。
- 化粧パネルはていねいに取り扱いってください。
(傷付けたり、汚したりしないようにしてください)

必要な工具

⊕ドライバー

付属部品

番号	部 品 名	個数	形 状
①	化粧パネル 固定ねじ	4	
②	タッピングねじ (予備2本含む)	5	
③	キャップ (左右用)	2	
④	キャップ (中央用)	1	
⑤	キャップ (可動パネル側)	5	

安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損失を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った据え付け方をしていたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

1 取り付け前の確認

化粧パネルを取り付ける前に次のことを確認してください。

- 室内機が水平に据え付けられていますか？



注意

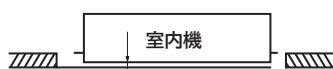
● 室内機は水平に据え付ける
室内機が傾いて据え付けられた場合
水漏れの原因になります。

- ドレン排水チェックはしましたか？

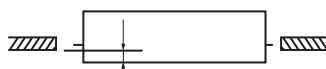
- 冷媒配管・ドレン配管などの断熱、Fケーブルの
仕上げは完了しましたか？

- 室内機底面と天井下面がありますか？

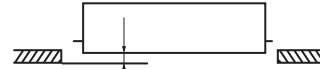
((1) の位置に必ず合わせてください。)



(1) 同一面 (引込み0~2mm)



(2) 出張り0mm以上



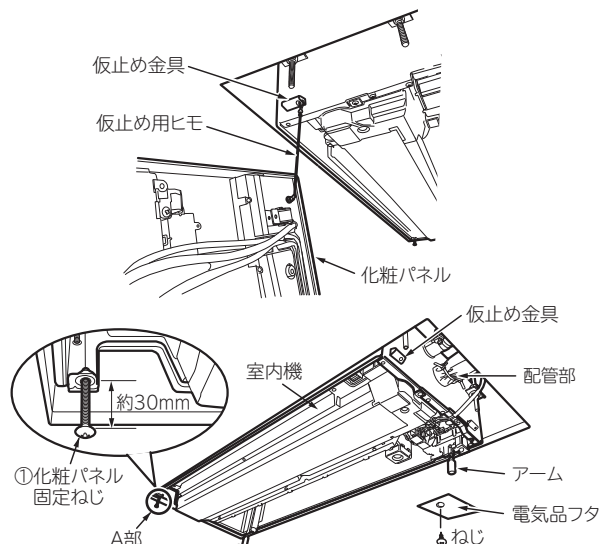
(3) 引込み3mm以上

- 排水確認後、ドレンポンプ試運転スイッチが「通常」になっていますか？

2 化粧パネルの取り付け

※化粧パネルを取り付けるねじは、パネルに同梱されている、ねじを使用してください。

1. 室内機の電気品フタを取り外します。
2. 化粧パネルの上下風向板を、ゆっくり約90度開きます。
(急に開きますと、軸から軸受けが外れ上下風向板が
動作しなくなる恐れがあります。)
3. 化粧パネルの仮止め用ヒモの先端フックを、仮止め金具
の穴に引っ掛けます。
4. 室内機のA部に、化粧パネル固定ねじ ① (長さ40mm) を
約30mmすき間を設けて、取り付けます。
(すき間を設けないと、化粧パネルがスライドしません。)



5. a部に前記4で取り付けたねじを通し、矢印側にスライドさせます。

6. 化粧パネル固定ねじ①でb部を室内機に仮止めします。

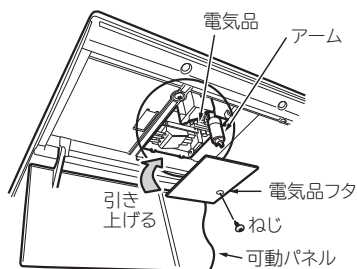
7. 化粧パネル固定ねじ①で配管側(2カ所)を室内機に仮止めします。
(化粧パネルの5種類コネクターコードを挟まれないように整えます。)
(アームをはさみ込まないように注意してください。)

8. 吹出口、吸込み口中央部をタッピングねじ②で固定し、本締めします。
(本締めは、必ず中央部のねじから行います。)

9. 吹出口側(2カ所)及び吸込側(2カ所)の化粧パネル固定ねじ①を本締めします。
(ねじを締め過ぎると、上下風向板及び可動パネルの動作に不具合が生じることがありますのでご注意ください。)

10. 化粧パネルのコネクター5種類を室内機側面の切り欠き部より電気品箱内に導き、制御基板内上の(右図参照)コネクターにそれぞれ接続します。
(ドレンポンプ試運転スイッチに触れないよう、注意してください。)

11. 電気品フタを取り付けます。
(コードのはさみ込みに注意してください。)



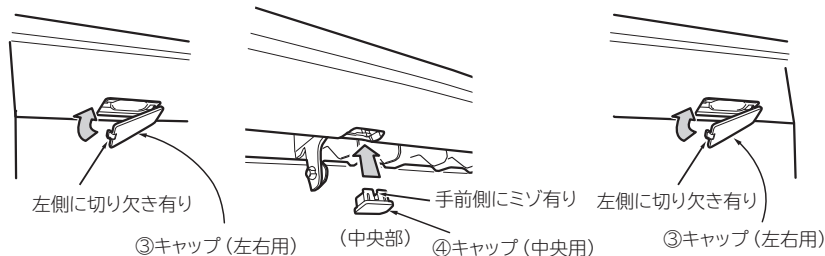
注) ドレンの試運転等で電源を入れた場合、アームが持ち上がって(室内機の中に納まって)います。
電源を入れ、リモコンの開閉ボタンを押して、アームを下げて(室内機から出して)ください。

12. 可動パネルのラッチ(3カ所)を押して、可動パネルをフレームから外します。

13. フレームのフックを、室内機のアームに方向を確かめて確実に差し込みます。(2カ所)

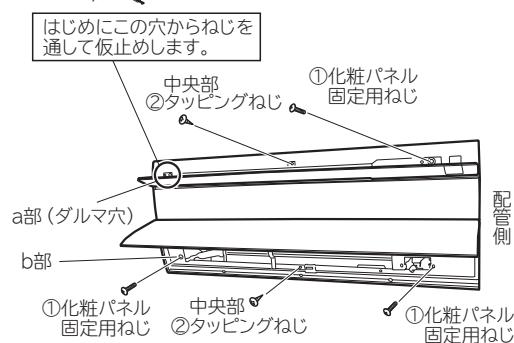
14. ラッチ(3カ所)を押して、可動パネルをフレームに取り付けます。

15. 吹出口の3カ所にキャップ③④を取り付けます。(左右は、同じ物を使用します。)



16. 可動パネル側のネジ穴5カ所にキャップ⑤を取り付けます

天井面と化粧パネルの間にすき間がある場合は、タッピングねじで化粧パネルを天井に固定した後にキャップ⑤を取り付けてください。



左右風向板用モーターコネクタ (CN12)

受光部用コネクタ (CN9)

表示部用コネクタ (CN16)

可動パネル開閉検出

スイッチ用コネクタ (CN13)

静圧切換スイッチ

低圧<=>標準<=>高圧

通常

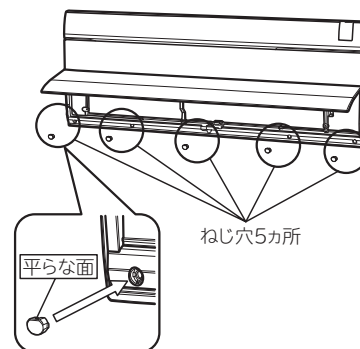
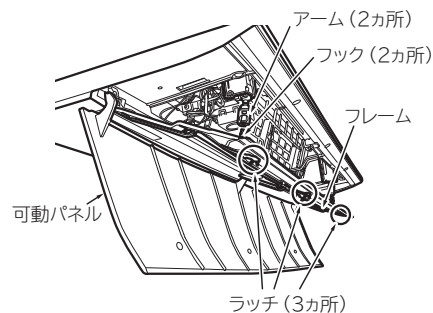
ドレンポンプ

試運転スイッチ

試運転

上下風向板用

モーターコネクタ (CN15)



3 取り付け後の確認

●化粧パネルと室内機との間、化粧パネルと天井面との間にすき間がありませんか？

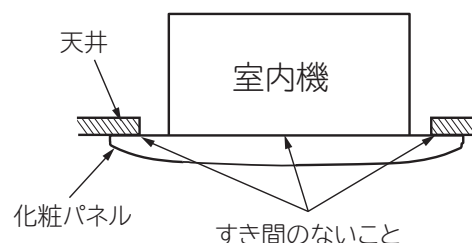


注意

●すき間がないように取り付ける
すき間があると露が滴下する原因になります。

●化粧パネルと室内機との間、化粧パネルと天井面との間に
リード線がはさまれていませんか？

●エアフィルターは正しく装着されていますか？



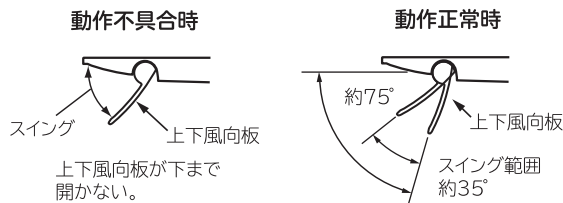
●タイマーランプが点滅していませんか？

(ドレンポンプの試運転スイッチが「試運転」のままですと、タイマーランプが7回点滅します。)

●上下風向板の動作は正常ですか？

(上下風向板の動作に不具合がある場合、すべてのねじを一度ゆるめ吹出口および吸込側中央部のタッピングねじ2カ所を締め、その後残り4カ所を、化粧パネルが水平になるように締め付けてください。)

《 可動パネルのすき間が気になる場合の調整方法・上下風向板が開かない／閉まりきらない場合の対応方法については、 》
《 下記を参照してください。 》



上下風向板が開かない／閉まりきらない場合の調整方法

●試運転時に化粧パネルの「上下風向板が開かない／閉まりきらない」場合は、図1のように軸から軸受けが、外れていることがありますので、以下の要領で正しく取り付けてください。

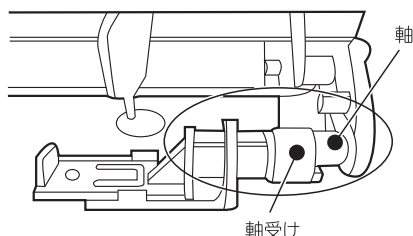


図1 軸受けが外れた状態(表示部側)

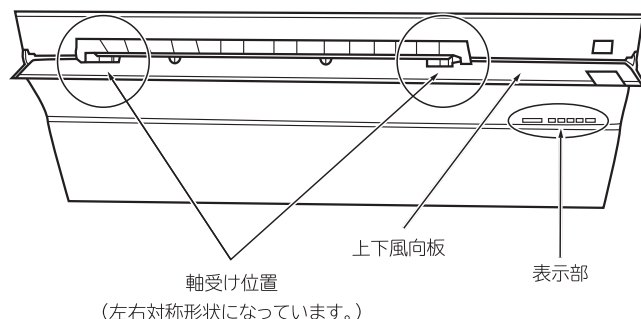


図2 軸受け位置

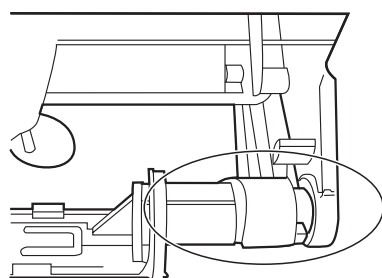


図3 正常な状態(表示部側)

1. 上下風向板をゆっくり開いて、ストッパーをA方向に移動します。(図4)
2. 連動板が軸2に挿入されていることを確認し、連動板が軸2の凸部から外れている時は、凸部に挿入します。(図5)
3. 軸受けを軸に固定します。(図4)
4. ストッパーをB方向に移動し、ストッパーを軸受けに挿入します。(図4)

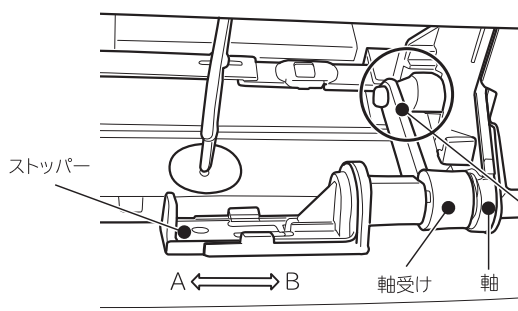


図4 処置方法1(表示部側)

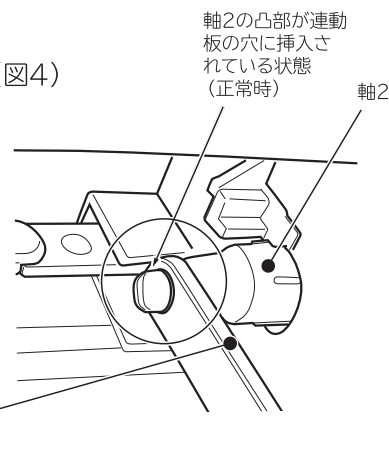
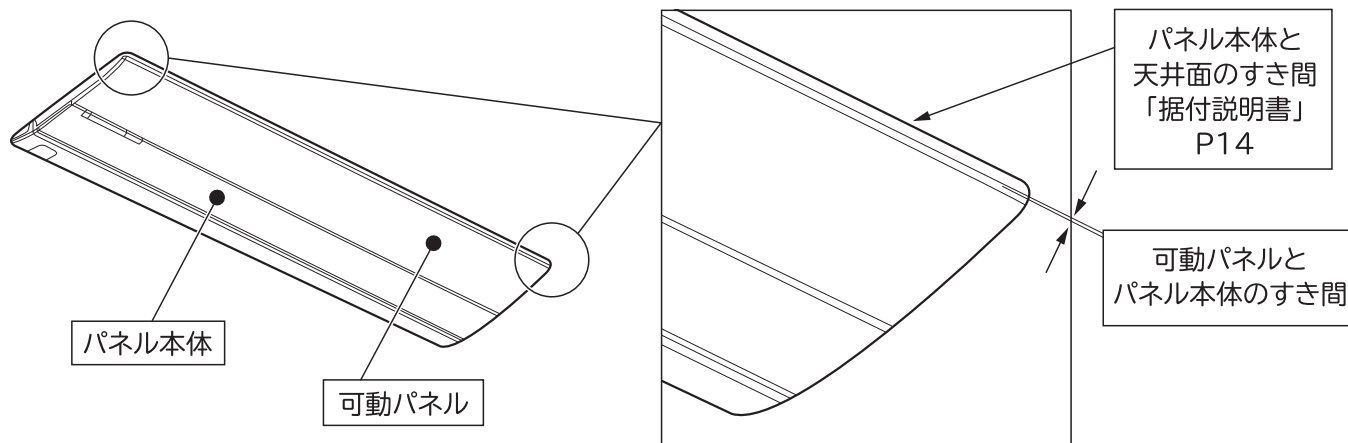


図5 連動板、軸2拡大図(表示部側)

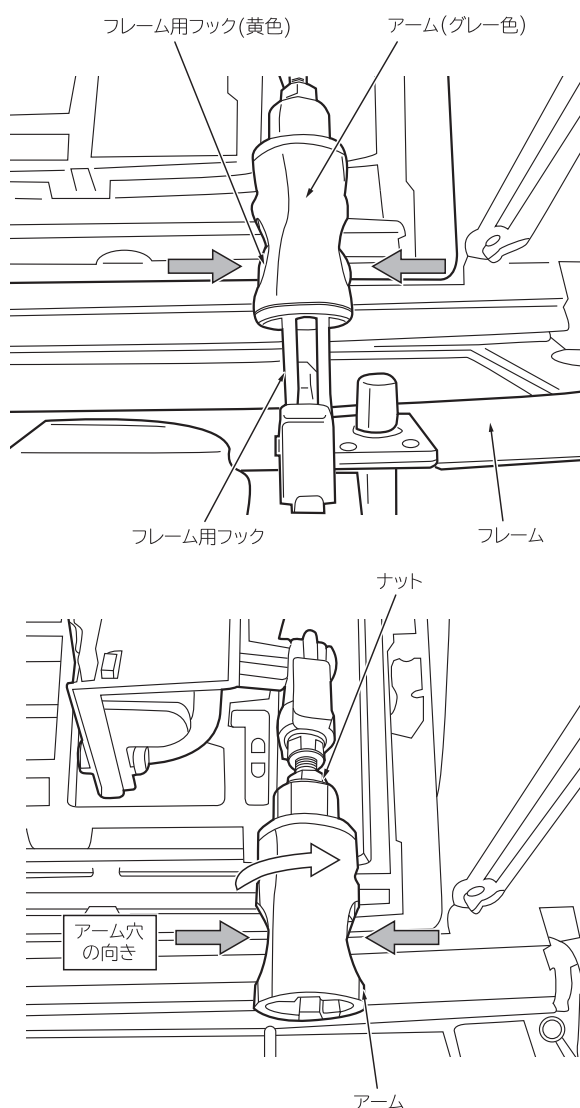
表示部の反対側も確認し、不具合がある場合には、同じ要領で作業をお願いします。

可動パネルの調整方法

- 可動パネルとパネル本体のすき間は、室内機のアームの長さ調整を行うことにより、修正することができます。
(パネル本体と天井面のすき間は、「据付説明書」P14を参照してください。)



<調整の手順>



1. 運転を停止し、リモコンの「開閉」ボタンを押して、可動パネルを開けてください。
2. フレーム用フックを矢印方向からつまんで、アームの穴部から外します。(2カ所)
(外す時、可動パネルが急に開きますので、可動パネルを下から支えながら、外してください。)
3. アーム上部のナットをゆるめ、アームが回るようにします。
4. アームを矢印方向(時計方向)に回転させますと、アームが上方向に移動し、すき間が小さくなります。
(アームは180度づつの回転で、約1mmすき間が小さくなります。)
5. アームの穴が左右になる位置にし、上部のナットを締めて固定してください。
(アームの穴部とフックの向きが合いませんと、確実に取り付けられません。)
6. フックのつまみをカチッと音がするまで、アームに挿入してください。(2カ所)
7. リモコン「開閉」ボタンを押し、可動パネルを閉じ、すき間の確認を行ってください。
調整後、すき間が均一にならない場合は、3項以降を繰り返してください。